

両角友成 県議が9月29日、9月県議会（9/24～10/9）一般質問に立ちました。質問と答弁の要旨を紹介します。



戦争法 県民の命守る立場で態度表明を

両角 空前の規模で広がった国民の運動と、6割を超す「国会での成立に反対」という国民世論に背いて、数の力で「安保法制」が強行された。これまで知事は「見守る」としてきたが、地方が国の言いなりになった「負の歴史」を忘れてはいけない。知事として今後どのような姿勢で臨むか。

阿部知事 私は政党の党首ではないので質問の主旨が分からない。外交防衛は国が責任を持って対応すべきこと。

両角 安保法制を廃止し、日本の政治に立憲主義と民主主義をとりもどす課題は「国民的な大義」をもった課題。私たちは、戦争法廃止のための国民連合政府を実現し、必ず廃止に追い込む決意だ。

特別支援学校 環境整備に予算を 過密化解消の手立てを提案

両角 特別支援学校の老朽化、教室不足が深刻。職員室がない、ストレッチャーが入れない狭いトイレ、プレハブ校舎。潤沢な予算を持って環境整備を行うべき。全県的な抜本的計画を示してほしいが。

阿部知事 教育委員会と相談しながら必要な予算付けをしたい。

両角 中信地区の特別支援学校再編整備計画では、他の特別支援学校の校舎使用で過密化解消の活路を見出そうとしているが、抜本的な解決は新設校・分校の設置ではないか。寿台養護学校に隣接し、平成30年に移転する中信松本病院の空き施設を利用してはどうか。これまでも密接な関係があるし、養護学校に欠かせない厨房施設や広い駐車場もある。病院側も門戸を広げている。

教育長 策定した再編整備計画で特別支援学校の諸課題の解決が図れると認識しており、病院を借り受けての学校新設は考えていない。

福祉医療 世論と運動に応え実現すべき

両角 全国的な運動の高まり、窓口無料の実施自治体の広がり、国も子どもの医療費制度のあり方検討会を設置。窓口無料を実施する自治体に対し国は、国保の国庫負担金減額というペナルティーを課してきたが、それを見直す動きもある。国に窓口無料を求めるとともに、県としての無料化実施を求める。

健康福祉部長 窓口無料化によって安易な受診が増え、医療費増や医療機関の混乱が危惧される。国のペナルティーも課題であり、現行の自動給付制度をとっている。

阿部知事 ペナルティーの見直しについての国の検討を踏まえて、福祉医療のあり方について市町村とも連携して対応したい。

国道143号は、松本・上小間の経済と文化を結ぶ道路であり整備促進が切望されています。青木峠を含めた整備を早期にと求めました。

質問を終えて…両角
県民の想いとかけ離れた答弁が多く、腹立たしい思いでした。それでも、県民の願いを少しでも前にと、声に力を入れました。

